

■ent-6.0.7 リビジョンアップ説明書

ent-6.0.7 リビジョンアップファイルには、ent-6.0.7 での修正に加え、ent-6.0.1～ent-6.0.6 の各リビジョンでの修正が含まれます。

ent-6.0.7 リビジョンアップファイルを適用することで、ent-6.0.1～ent-6.0.7 でのすべての修正が適用されます。
特定のリビジョンのみを適用した場合の動作保証をしておりませんのでご注意ください。

【対象バージョン】

PassLogic Enterprise Edition 6.0 (RHEL9)

【適用範囲】

全ての PassLogic 認証サーバー（ゲートウェイサーバーへの適用は必要ありません）

【修正内容】

・ent-6.0.1

「PassLogic Authenticator（旧名称 PassClip L）」の機能である「ログインプロテクト」の解除に、スマートフォンの生体認証機能（指紋・顔）を利用可能にします。

※）上記の機能をご利用の際は、スマートフォンアプリ「PassLogic Authenticator（旧名称：PassClip L）」 Ver1.6.0 以降をご利用ください。

・ent-6.0.2

管理ツールの「ログ閲覧」の「ダウンロード」機能において、検索条件にしたがったダウンロードができない不具合を修正しました。

・ent-6.0.3

管理者の権限が「useradmin」の場合に、管理ツールの「ユーザ管理」において、「新規作成」メニュー内の「グループ名検索」をクリックすると 403 エラーになる不具合を修正しました。

・ent-6.0.4

LDAP ID 同期、ユーザー一括登録（コマンド実行を含む）にて、特定の条件で全ユーザが処理されないまま停止する不具合を修正しました。

LDAP ID 同期にて、ドメインの検索フィルタが不正な場合に、同期処理が開始直後に異常終了する不具合を修正しました。

・ent-6.0.5

Red Hat Enterprise Linux 9.5 以降のバージョンにおいて、PassLogic が発行したクライアント証明書の提出時にエラーが発生する不具合を修正しました。

※）Red Hat Enterprise Linux 9.5 では、OpenSSL のバージョンが 3.2 系へ変更され、それに伴い TLS ツールキットによる証明書発行の仕様も変更になりました。

この変更により、OpenSSL を用いて発行される証明書は常に X.509 バージョン 3 となります。また、拡張属性として CA:TRUE を設定します。

なお、PassLogic ent-6.0.4 以前のバージョンをご利用中で、すでにルート証明書を設定しクライアント証明書認証を利用されている場合、リビジョンアップ後もルート証明書やクライアント証明書の再発行は不要です。

・ent-6.0.6

クライアント証明書ダウンロード機能における認可処理の脆弱性を修正しました。

CVSS 基本評価基準値：4.8 (CVSS:3.1/AV:N/AC:H/PR:N/UI:N/S:U/C:L/I:L/A:N)。

・ent-6.0.7

バックアップコンバーターでアップデートを行った環境において、シームレスサインオン機能を有効にした「PassLogic for Windows Desktop」でログオンできない場合がある不具合を修正しました。

【リビジョンアップ時のサービス停止】

リビジョンアップ時、httpd, passlogic-pgpool, passlogic-pgsql, radiusd の停止は必要ありません。

・php ファイルを入れ替える為、アクセスが少ない時間帯に適用する、あるいはアクセスを閉塞して適用することを推奨します。

・現在のバージョンが ent-6.0.3 以前で LDAP ID 同期を利用している場合は、LDAP ID 同期の定期実行が行われない時間帯、ユーザー一括登録処理が実行されていないタイミングにて適用することを推奨します。詳細は ent-6.0.4/README_4.txt をご確認ください

・ファイルを入れ替える為、管理ツールでルート証明書の発行・更新の操作を行わないでください。

【リビジョンアップ手順】

/usr/local/src にリビジョンアップファイルをコピーした場合のコマンド例

(root 権限で実行)

```
# cd /usr/local/src
# tar zxvf PassLogic-ent-6.0.7-el9.tar.gz
# cd passlogic-ent-6.0.7
# ./install.sh update
```

ent-6.0.7 へのアップデートを開始しますか？ - Would you like to start the update? [yes/no]

(yes を入力してください)

install.sh 実行終了時下記のメッセージを表示します。

アップデートが完了しました。現在のバージョンは ent-6.0.7 です。 - The update has been completed. The current version is ent-6.0.7.

上記メッセージが表示されない場合は、サポートにお問い合わせください。

install.sh 実行後、リビジョンアップファイルを展開したディレクトリには、切り戻し用のバックアップファイルが保存されます。このディレクトリを削除した場合、切り戻し処理は実施できなくなります。

【リビジョン切り戻し手順】

/usr/local/src にリビジョンアップファイルをコピーした場合のコマンド例 (*1)

(root 権限で実行)

```
# cd /usr/local/src/passlogic-ent-6.0.7
# ./install.sh revert
```

ent-6.0.w に切り戻しますか？ - Would you like to roll back ? [yes/no]

(yes を入力してください)

install.sh 実行終了時下記のメッセージを表示します。(*1)

切り戻しが完了しました。現在のバージョンは ent-6.0.w です。 - The revert has been completed. The current version is ent-6.0.w .

上記メッセージが表示されない場合は、サポートにお問い合わせください。

* 1) passlogic-ent-6.0.7 をインストールする前のバージョンが ent-6.0.w だった場合の例

【リビジョンアップ後の PassLogic のアンインストールについて】

リビジョンアップスクリプトには uninstall オプションがありません。

リビジョンアップ後に PassLogic 自体を完全にアンインストールする場合、

以下 (1) , (2) のいずれかの方法で行ってください。

1) ent-6.0.0 までリビジョンの切り戻しを実行後、PassLogic ent-6.0.0 のパッケージに付属のインストーラでアンインストール

2) /opt/passlogic/VERSION に記載されているリビジョンを ent-6.0.0 にして、ent-6.0.0 のパッケージに付属のインストーラでアンインストール

※ アンインストールの手順は、「PassLogic Enterprise Edition Ver.6.0.0 インストールガイド」の「4 アンインストール」をご参照ください。

【各リビジョンの README について】

各リビジョンの README は、以下にありますので、ご確認ください。

”passlogic-ent-6.0.7Rev.zip”の構成は以下のとおりです。

ent-6.0.7 リビジョンアップ説明書.pdf

本資料

PassLogic-ent-6.0.7-el9.tar.gz

➡passlogic-ent-6.0.7

➡ent-6.0.1

➡README_1.txt

ent-6.0.1 の README

ent-6.0.2

➡README_2.txt

ent-6.0.2 の README

ent-6.0.3

➡README_3.txt

ent-6.0.3 の README

ent-6.0.4

➡README_4.txt

ent-6.0.4 の README

ent-6.0.5

➡README_5.txt

ent-6.0.5 の README

ent-6.0.6

➡README_6.txt

ent-6.0.6 の README

ent-6.0.7

➡README_7.txt

ent-6.0.7 の README

【改版マニュアル（ent-6.0.3）の入手方法】

「ログインプロテクト」の解除にスマートフォンの生体認証機能を利用するにあたり、ent-6.0.3でマニュアルを改版しました。改版したマニュアルの入手につきましては、ご購入時にお送りした「ライセンス購入証書」に記載されております窓口にご連絡ください。

※) 2024年9月24日以降に PassClip L アプリをアップデートした場合、アプリの名称が「PassLogic Authenticator」に変更になります。なお、管理ツール等 PassLogic サーバでの名称は「PassClip L」のままになりますのでご注意ください。次回のメジャーバージョンアップ、もしくは、マイナバージョンアップ時のマニュアルから「PassLogic Authenticator」と「PassClip L」を併記いたします。